

先日は「てがたん」にご参加いただき、ありがとうございました。「てがたん」の観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回9月の「てがたん」は9月13日(土)で「原っぱ探検隊」がテーマです。是非ご参加下さい。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは9月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→用水路→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2014年8月9日(土) 10:00~12:00 /曇り
- 参加人数 16名(一般10人、子ども6人)
- 市民スタッフ 6名(伊東茂子、小泉伸夫、弘實さと子、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、染谷実紀)

観察記録 — 8月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カウウ/キツツキ科：コゲラ/カラス科：ハシブトガラス/ツバメ科：ツバメ/
外来種や家禽：ドバト

【魚類】

コイ科：モツゴ、タモロコ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ/ドジョウ科：ドジョウ、ホトケドジョウ/ハゼ科：ヨシノボリの仲間

【両生類】 アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル(鳴き声)

【貝類】 サカマキガイ科：サカマキガイ/モノアラガイ科：モノアラガイ/タニシ科：マルタニシ、ヒメタニシ

【甲殻類】 テナガエビ科：スジエビ

【昆虫・クモ】

甲虫の仲間：コガムシ/トンボの仲間：アオモンイトトンボ、コフキトンボ、シオカラトンボ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、トノサマバッタ/カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、アメンボの仲間/チョウ・ガの仲間：キタキチョウ、アオスジアゲハ、ヤマトシジミ、ルリシジミ/
ハチ・アリの仲間：クロホシハバチ/クモの仲間：アシナガグモ、ナガコガネグモ

【花】

キク科：ノゲシ、ブタナ、オグルマ/ツユクサ科：ツユクサ/アカネ科：ヘクソカズラ/カタバミ科：カタバミ/イネ科：メヒシバ、エノコログサ/
ブドウ科：ヤブガラシ/ヒルガオ科：コヒルガオ/トウダイグサ科：エノキグサ/ガマ科：ガマ、ヒメガマ/ヤマノイモ科：ヤマノイモ/アカバナ科：
アレチマツヨイグサ/マメ科：ヤマハギ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/アゼトウガラシ科：ウリクサ

8月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「手賀沼の魚」でした。

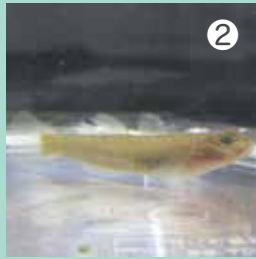
魚類は7種観察しました（モツゴ、タモロコ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ、ホトケドジョウ、ヨシノボリの仲間）。網の使い方も教わり、みんなで魚とりをしました。



今月の案内人：松村 定雄さん 保田 行弘さん



① 暑い時期（6～9月）に咲くツククサ



② 水路で見つけたヨシノボリの仲間 顔の赤い線が特徴



③ 水路で見つけたスジエビ 縞模様がたくさん入るのが特徴



④ 黄緑色の体色、目の横の線が特徴のニホンアマガエル



⑤ 放射状に並んだ花を小さな車に見立てたオグルマ



手賀沼に仕掛けたカゴにはタイリクバラタナゴやモツゴがたくさんかかりました



8月てがたんの観察生物とルート



水路ではヨシノボリの仲間、ドジョウ、スジエビを観察 大きなウシガエルのオタマジャクシも見つけました



⑥ 大きくて立派なショウリョウバッタ



⑦ 手賀沼で採集した魚で一番数が多かったモツゴ



⑧ モツゴとよく似たタモロコ モツゴと違い、ヒゲがあるのが特徴



⑨ 口が下向きについているツチフキ



⑩ コブハクチョウの親子 手前のくちばしの色が鮮やかな個体が親鳥

今月の鳥 ツバメ (スズメ目ツバメ科)

ツバメの姿を見かけると季節が変わったことを感じます。ツバメは春になると東南アジアから日本を目指して飛んでくる夏鳥です。

産卵期は4～7月、年に1～2回、一夫一妻で繁殖します。泥を口の中でおねて泥団子にし、ワラなどと混ぜてお椀形の巣をつくります。産座には枯れ草や羽毛を敷きます。一つの巣の卵の数は、3～7個です。ヒナは13～14日で孵化し、17～22日で巣立ちます。

幼鳥は成鳥よりも尾羽の両端が短く、のどが薄い赤色です。口角に黄色が見えたら、間違いなく幼鳥です。



ツバメ(室内で撮影)



ガイドの様子

てがたんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております！